

本人が物語風に綴る闘病記

44歳で甲状腺がんと中咽頭がんが見つかりましたが、  
中2の娘が「大したことないやん」と言うので。

著：原 利彦（1972年 生まれ）



甲状腺がん 発覚編 009：ウタになんて話そうか？

2017年3月25日（土）

ウタは中学校でハンドボール部に所属しています。まだ2年生ですが、ちょいちょい、試合にも出させてもらっているようです。先日の大会で優勝したので、県の代表校として全国大会が行われる富山県へ、今日、出発します。ウタはトキの病気のことも、手術のことも、入院のことも何も知らないまま、富山へ行ってしまうのです。当然、このタイミングで「来週、大手術をする」など言えるわけがありません。しかも病気は『がん』なのです。

既に、がん患者で猛烈に頑張らなければならないトキは、

ウタを「頑張ってきてね！」と可能な限りの笑顔で送り出しました。



そして、ウタは手術当日に帰ってきます。

トキは思いました。

ショックだろうなあ、なんて話そうか？

⇒ 010：ボロボロ泣きながら。